

御浜町には、まだまだ 感動スポットがいっぱい!

ひきづくり おおくす 引作の大楠



七里御浜TICから車で約12分。
引作神社のご神木で、樹齢約1500年といわれる楠(クスノキ)の巨木です。高さが40m、幹まわりが15mあり、紀伊半島で随一の大きさを誇ります。三重県の天然記念物に指定され、新日本名木百選にも選定されています。

堂々と枝葉を広げた姿は、遠くから眺めるとまるで森のように見えます。根元に立ち、見上げると何本もの幹に分かれており、見る人を包みこむような抱擁感を与えてくれることでしょう。過去にあった伐採の危機からも生きながらえ、地元で大切に守られている木です。



Google MAP

がんだういん 岩洞院



七里御浜TICから車で約25分。
岩洞院は阪本地区にあるお寺です。今では棚田の風景が見られるこの一帯ですが、江戸時代には水不足に悩まされていました。当時、頻発していた用水の奪い合いを解消すべく、庄屋のおはらけんしちろう小原源七郎と藩の世話役人・しらいきやうそう白井久蔵が尽力し、ため池の増成に乗り出します。「わしのす鷲ノ巣池」と「くらたに三倉谷池」が築かれると、その後は住民たちが安心して米作りができるようになったそうです。1872(明治5)年、その功績をたたえた頌徳碑が境内に建てられました。



Google MAP

きしゅうけん 紀州犬



三重県の天然記念物に指定されている日本犬の一種です。飼い主に対してとても忠実で、素朴な表情の奥には内に秘める闘志が感じられます。古来より、猟犬として親しまれてきました。阪本地区は紀州犬の発祥の地とされており、紀州犬の民話「やくらう弥九郎とマン」が語り伝えられています。「やくらう弥九郎」は、江戸時代に阪本に実在したとされる猟人です。オオカミを助けた際に手に入れた子犬「マン」が紀州犬の祖先になったという伝説が残されています。岩洞院に弥九郎の墓があります。



紀州犬の動画

てらたにそうごうこうえん すいれん 寺谷総合公園 睡蓮



七里御浜TICから車で約12分。
御浜町のほぼ中央に位置し、グラウンドやテニスコートなどを備えた公園です。尾根に沿って遊歩道があり、展望台からは太平洋や紀州の山々を眺めることができます。
園内の修景池では、睡蓮の花が一面に咲く姿がたのしめます。特に5月中頃から6月初めが見頃となり、地域内外から多くの人が鑑賞に訪れます。



Google MAP

トロトロ坂



七里御浜TICから車で約30分。
熊野にはかつて生活道として利用されていた古道が今でもいくつか残っています。その中のひとつが、御浜町片川～紀宝町桐原に抜ける峠道「トロトロ坂」です。正式に熊野古道の世界遺産ルートには登録されていませんが、美しい石畳が残されており、風情のある雰囲気に入ることができます。



Google MAP

ももたるういわ 桃太郎岩



七里御浜TICから車で約40分。
おとぎばなしの「桃太郎」がうまれた桃のような形をした岩です。尾呂志川の支流、片川川(かたかわがわ)にあり、高さは3mほどです。その昔、大洪水が発生し、上流から流されてきた巨岩が真二つに割れたものだとわれています。
県道35号から林道片川線に入り、林道終点に車を停められますので、そこから片川川沿いに歩いて約5分ほどで桃太郎岩に辿り着きます。
片川川はきれいで夏場は水遊びに来る人も見かけます。



Google MAP

あたわじんじゃ ししまい 阿田和神社～獅子舞



七里御浜TICから車で約5分。
尾呂志川沿いにある農業と商業の神として知られる神社です。七つの神がまつられており、豊作や豊漁とともに地域の平穏を祈願する例大祭は850年以上の歴史があります。
祭で奉納される「阿田和の獅子舞」は、御浜町無形民俗文化財に指定されています。江戸時代中期から現在まで伝承され、200年以上の歴史がある舞です。今もなお、地域の伝統行事として親しまれています。



Google MAP

ひつじみかん牧場



七里御浜TICから車で約15分。
羊とふれあえる観光牧場です。海の見える最高のロケーションで、かわいい羊たちにエサをあげたり触ったりできます。牧場内のみかん畑でとれたみかんを使ったアイスやジュース、そのほか軽食などもあり、羊を愛でながらベンチに座ってのんびり過ごせば、いやされること間違いなしでしょう。飼育している羊は約20頭。クープワス系交雑種とコリデール系交雑種の2種類で、どちらも顔の白い品種です。羊毛の品質も高く、「第10回国産羊毛コンテスト“フリース・オブ・ザ・イヤー”2020」で最高位の金賞を受賞しています。



Google MAP